

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2374500516		
法人名	有限会社サロット		
事業所名	グループホームさくら・ひまわり		
所在地	愛知県尾張旭市柏井町公園通573-1		
自己評価作成日	平成28年2月4日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kainokensaku.jp/23/index.php?action_kouhyou_detail_2015_022_kiban=true&liyosyoCd=2374500516-00&PrefCd=23&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社ユニバーサルリンク		
所在地	〒463-0035 愛知県名古屋市中区山崎森孝3-1010		
訪問調査日	平成28年2月29日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>木材をふんだんに使った純和風の平屋建て2ユニットのホームは、周囲を森に囲まれている。ホームを一周する形でウッドデッキがめぐらされ、両ユニット間には全員が日向ぼっこできそうなほどのウッドデッキ空間がある。各ユニットのお風呂は、窓を開けると雑木林や竹林が見え、さながら露天風呂のように四季折々の空気の質感・鳥や虫の音が楽しめる空間となっている。去年から看取りに力を入れ、24時間連携の医療機関の協力と、職員として配置されている看護師である計画作成担当者の尽力もあり、目標達成計画として掲げた「看取りのマニュアル・職員の負担軽減」を実現しつつある。今年も2名看取りを行ったが、職員の精神面の負担軽減のため、管理者・看護師は10分以内にホームへ駆け付ける体制で臨んだ。その結果ユニット「ひまわり」で看取った方の葬儀には季節外れながらヒマワリの花が飾られ「これが私たちのホームへの感謝の気持ちよ」と伝えられた時には、「やってよかったと思いました」と語る管理者・看護師の両目には光るものがあつ</p>

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	スタッフが目に入るところに掲げてあり、研修等で理念に添った介護をしたいと話合っている。	「この街で自然に暮らし、笑顔の見られる介護」を理念とし、入居者の笑顔を最優先している。一律的に「自立歩行」「布パンツ使用」を目指すのではなく、「杖を使って恐怖を感じるなら車いすでもいいんじゃない」と、画一的になりがちな目標も、あくまでもその人本位に寄り添い、本人の『笑顔』を最優先にケアをしている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	ハーモニカやレクリエーションボランティアの方来てくださる。 近隣の保育園の慰問もある。	町内会に加入し、地域清掃には職員が参加し、入居者はホーム前面道路を清掃している。近所の喫茶店・ドラッグストアによく出かけ、補助食材の買い出しには入居者もついてくる。地域の保育園児もホームまで訪問してくれる。地域の人々もボランティアで訪れてくれる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議に参加していただいている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	参加して頂きやすいよう行事と合わせて開催するなどの工夫をしている。 日々の生活などを報告して、意見を伺っている。	市長寿課課長・入居者及び家族・地域住民・管理者・計画作成担当の看護師をメンバーとし、法定回数開催されている。看取りの経験から、「看取りのマニュアル作り・職員の不安軽減」の必要性を感じ目標達成計画として掲げ一年取り組んできた。イベントと絡めて会議開催したところ、7～8家族も参加して下さった。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	事業者連絡会に参加している。	月に一回市内の介護事業者・長寿課職員・地域包括職員・社会福祉協議会職員が一堂に会し、各部門別に課題・問題点を話し合っている。事業者部会ではホームの看取りの取り組みについて報告した。今年4月にはホームで認知症サポーター養成講座を、地域包括センターと共催する予定である。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ホーム前の道路は交通量が多いため、施錠をしているが、それ以外の拘束になることはしないよう意識している。	ホーム北側にある県道の朝タラッシュ時の迂回路として、幅員4mほどのホーム前面道路をひっきりなしに車が通過する。そのため安全対策として玄関は施錠している。散歩が好きな人は外出したくなると周囲のウッドデッキをウロウロしますので、約束のお出かけ時間10時をめぐりに散歩にお誘いしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	年に一度研修を行っている。 スピーチロックにも配慮している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修などで学んでいる。 後見人制度を利用している方もいる。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	丁寧に説明をし、理解していただいているからの契約となるようにしている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会に来られた時に要望などを伺うようにしている。 意見ポストが置いてある。	運営推進会議の家族参加を増やすため、クリスマス会や、夏祭りを兼ねて行い、7~8家族の参加が見られた。介護料金改定時の家族の不安も「シミュレーションの結果今の料金からこれ以上上がることはありません」とホームから説明され家族も安心した。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1度スタッフ会議を行い、意見交換をしている。	月一回のスタッフ会議・週二回のユニット会議で様々な提案がなされ、その提案は日常の記録に、小さなメモで入居者ごとの今週の留意点として情報共有され、「現状」⇒「アセスメント」⇒「プラン」と欄が分かれており、自然と職員の問題解決力を育てることがシステム化されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	半年に一度面談する機会があり、意見を聞いてくれる。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月に一度社内研修がある。 実践者研修にも行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	部会に参加し交流をする機会としている。 社外研修を通して交流を図るようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	生活歴を聞き、本人の望みや困っていることなど、話をしやすい雰囲気作りに心がけている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	事前に十分に話をする時間を作り、不安なことなどを聞き、関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人や家族が必要としていることを見極め、適切な支援が出来るように心がけている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	見守りで出来ること、一緒に行えば出来ることなどを見極めて関わるように心がけている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人と家族の絆を大切にしながら共に本人を支えていく関係に努めている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	昔馴染みの方や近所の方が面会に来てくださっている。	入居前から続けてきた集いに仲間が送迎して今も出かける方がある。2～3人の人は友人が半年に一度ほど訪ねてくる。正月には2名ほど家族と外泊し、中には関東地方まで出かけた方もいる。「これが最後かもしれない」との、ご家族決断の上での旅行だった。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	なるべくなじみの関係ができるよう席を工夫したり、アクティビティの時間を利用して利用者同士が関わりあえるよう支援している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他施設に変わった後も面会に伺い、相談があれば対応できるようにしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人一人の思いや希望を把握するよう努めている ご自分の意思を表現することが難しい方はできる限り快適に過ごしていただけるよう努めている。	「ありきたり・一律的な介護目標ではなく、その人が笑顔になれる・安心できることが最優先です」と管理者は語る。骨折し、退院した際「今更施設へ引っ越しなんて可哀そう。シャワーが可能ならそれでも構わない」と家族に言われ、ホームでできる限りの対応をした。結果、退院時の医師見込みを大きく越え、現在100歳を超え、ホームで暮らしている方もいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族から話を聞いたり、本人から話を聞き把握するように努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	週に2回ユニット会議を行い、関わり方などの見直しをしている。 心身の状態に変化があるときは記録に残し、申し送りをしている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	朝礼やユニット会議で話し合いをし、皆で意見を出し合っている。面会に来られた時に現状を家族に伝え、意見を伺っている。	週2回のユニット会議で出た気づきはコピーして小さく各入居者ごとに今週の留意事項として切り貼りされ、日常的にプラン妥当性の検討がされている。と同時に気づきは「現状」⇒「アセスメント」⇒「プラン」と職員が段階的に考えるシステムとなっており、問題解決力を自然と養っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ユニット会議で話し合いをしたことが日々のケアに活かされるよう意識している。会議で決めたことを中心に記録に残し、情報の共有に努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	家族が受診などに行けないときは対応している。 嚙下の悪い方には個別にとろみをつけるなどその時のニーズに合わせて対応している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣のスーパーに食材の買い物に出かけたり、近所の喫茶店に出かけたりしている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前からのかかりつけ医に通っている方もいる。 状態に応じて往診医にかかっている方もいる。	入居時に協力医に転医する入居者もいるが今までのかかりつけ医を継続している入居者もいる。外出して受診時は家族の付き添いをお願いしている。生活状態や体調に変化があり、報告や相談の必要がある時は看護師が付き添う	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	常勤の看護師がいるので、変化が見られたらすぐに対応してもらえる。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	できる限り面会に行き、不安が少なくなるようにしている。 早期退院できるように病院の担当と連絡を取り合っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に重度時の対応について話をしている。状態に応じてご家族と話し合いをし、希望を伺っている。	前年度は3例の看取りを経験した。入居時の説明に加え、容態の変化に応じて、生活の延長線上にある死にホーム内で出来ること、家族とスタッフ、医療関係者のチームで対応する事を確認して対応した。医師は協力医に転医してもらいきめ細やかに往診してもらった。スタッフ全員容態の変化に応じて学習していった。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事例を基に研修会をしている。 電話の側にマニュアルが置いてある。 緊急時があった翌日の朝礼で対応についてなどのミーティングを行い、次に起こった時の対応について話し合いをしている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回避難訓練をしている。	平屋建てなので窓から直接庭やテラスに出ることができる。年に2回避難訓練を行っている。入居者の状態や負担を考えて訓練への参加は考えていない。備蓄品は食糧を一日分蓄えている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	自尊心を傷つけないような言葉かけを実践している。	フロア内で他のスタッフに報告や相談する時にはイニシャルを使ったり、いきなり大声を出さない等、入居者の笑顔を阻害する要因を極力排除する様心掛けている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の会話の中で本人の思いや希望を聞き取るようにしている。 話しかけやすい雰囲気を作ったりしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	家で暮らしているようなそれぞれ自分のペースで過ごしていただけるようにしている。 散歩や昼寝は希望に添えるようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問美容を利用し、パーマや毛染めしている方もいる。 洋服は季節に応じて選んでもらっている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理や盛り付けと一緒にやっている。 毎週木曜日は食べたいものを伺いメニューを決めている。	栄養士がたてた献立に基づいているが週に一度は入居者の希望する献立としている。細々とした材料の買い出しや調理の手助けは入居者の希望にあわせている。食事中はテレビを消し、音楽を流している。咀嚼力や嚥下機能に合わせて細かく切ったり、とろみを付けている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	カロリーを考えた献立になっている。 ホームでスポーツドリンクを作り、お茶が進まない方に勧めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを促し、ご自分でできない方は介助している。 歯磨きやコップの消毒はスタッフが行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人一人の排泄パターンを把握し、時間にこだわらずトイレで排泄ができるように対応している。	入居者それぞれの排泄パターンを把握し適時に見守りや声掛けをしている。布パンツを着用する事で失敗への不安や緊張が見られる場合は紙オムツ着用にする事もある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分をこまめに取っていただけるようウォーターにポットを置いている。排便記録を見て便秘になっていないか確認している。 定期的に出ていないときは腹部マッサージをしたり、なるべく自然に排便できるようにしている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	できる限り本人の希望に沿って入浴していただいている。 ゆっくり楽しんでいただけるよう一人ずつ時間を長めにとっている。	隔日の入浴としているがその時々入居者の希望(時間、順番、介助者等)に合わせていく様努力している。季節に合わせた行事湯を行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼寝が必要な方は居室で休んでいただいている。 夜間、安眠できるように日中の活動にメリハリをつけている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の作用・容量等をまとめたファイルが常にスタッフが目につくところにある。薬が変更になったときは業務日誌に記入し、申し送るようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お話が好きな方はフロアーや居室でお話している。 散歩や外出する機会を増やし、気分転換を図るようにしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	桜や梅の花見、秋の遠足で上野天満宮や昭和村に出かけたりしている。	日常の食材や個人的な買い物、喫茶店、外食には少人数で出かけている。ホームの遠足や遠出には家族にも参加を呼びかけているが参加は少ない。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご自分で管理できる方は持っていたり、喫茶店やスーパーでの買い物のときに使っている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	携帯電話を持っている方は必要な時にかけている。 連絡がしたいと言われるときや、事務所に電話を借りに来る方も見える。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節を感じてもらえるような飾りつけや、一緒に毎月のカレンダーを作ったりしている。	木造平屋建てで各ユニット毎に玄関があり、それぞれ独立した作りになっており、中庭のウッドデッキで行き来できる。ホールにはテーブルと畳コーナーがあり今はお雛様が飾ってある。ホーム内で飼っている犬と猫のゲージが置いてある。洗面所とトイレは居室数室の傍に散在しており他の視線を気にしなくとも良い。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テレビの前にソファを置き、寛いでいただけるようにしている。 気の合った利用者同士同じ席になって談笑している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	慣れ親しんだタンスや家具を持ってきていただいたり、飾りつけをしていただいている。	床も壁も木造で、天井灯とエアコン以外は個人の私物で整えてある。タンスや机を持ち込んで好みの空間を作っている。半間程の押し入れが付いている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室前には顔写真入りの表札がある。 トイレや廊下は手すりがあり、歩行が不安定でも利用することで、自立した生活が送れるようにしている。		